



研究部から



～元気にあいさつ キャリアと心を見がき、 未来を拓く～

本校では、令和6年度より聴覚障害教育に経験豊富な先生である村野一臣先生(元東京都立立川ろう学校長、現東京学芸大学教職大学院特命教授)から助言をいただきながら、「葛飾ろう学校で育てたい力 ～キャリアと心を見がき、未来を拓く子供を育てるために～」をテーマに、育てたいポイントごとに8つのグループに分かれて全教職員で研究を進めています。

今月は先月に続いて「2グループ」の具体的な取り組みについて紹介します。

研究テーマ (2グループ)

卒業後の生活に必要な知識のある子供

○研究の目的

幼児・児童・生徒が自分らしくポジティブに充実した人生を送るためには、何が必要か。特に「卒業後の生活のために」「自立した生活(一人暮らし等)のために」という視点で幼児・児童・生徒に必要な力について研究を進めました。

○具体的な取り組み

- 1 幼児・児童・生徒が将来自立した生活をするために必要な知識について、発達段階別に考え、カテゴリーに分けて検討しました。
- 2 葛飾ろう学校で働いている聴覚障害のある教員にアンケートを実施しました。「生活の中で工夫していること」「このようなときは、どうしているか」「卒業までに身に付けておきたいこと」について、大変参考になる意見を聞くことができました。
- 3 広範囲にわたる多くの大切な事柄に対し、「卒業後の生活に必要な知識」の視点から、「医療・福祉」に関係する内容に絞りました。

○今後の取り組み

障害者年金の申請手続きや故障した補聴器の助成金の申請方法等をはじめとする諸制度の指導内容や指導方法について検討していきます。

○保護者へのメッセージ

「医療・福祉」について扱うとよいことなどございましたら、御意見をいただけますと幸いです。

